

# 佐賀県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

## 選抜概要

- 佐賀県の公立高校入試は特別選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志望変更	入試日	合格発表日
特別選抜	1/28(木)~29(金)	-	2/4(木)	2/10(水)
一般選抜	2/16(火)~17(水)	2/22(月)~24(水)	3/3(水)・4(木)	3/11(木)

- 出願は、原則1校（1学科，1競技・分野）に限ります。  
一般選抜は2以上の学科を置く学校に出願する場合、当該学校が設置する学科について、第3志望まで記入することが出来ます。
- 普通科の学区は東部・西部の2つに分かれており、専門学科・総合学科は全県となります。

## 特別選抜

- 特別選抜は志願する当該学校・学科に対して適性があり、興味・関心がある、また、志願する明確な動機を有する受検者が対象です。  
選抜はいくつかの枠が設けられており、区分・実施校・募集人員は以下のようになります。
- ・スポーツ推進指定校（競技実績枠）…22校，46指定運動部，254人
- ・文化芸術推進指定校（教育課程枠）…3校，6分野，33人
- ・文化芸術推進指定校（学校希望枠），スポーツ推進指定校（学校希望枠）  
…28校，89指定運動部（文化部24，運動部65），162人

### ●選抜資料

①面接	配点は各学科により異なる（2021年度は10点~150点）
②調査書	「学習の記録」「学習の記録以外」に配点が分かれている
③実技検査	配点は各学科により異なる（2021年度は150点~300点）
④学力検査	国語・数学・英語の3教科（各25分・各50点）

- 上記の資料を用い指定競技・分野ごとに総合的に審査します。  
ただし、学力検査・実技検査・実績評価表を合わせた評価の割合は全体の50%以上としています。実施項目や各学校の設定した配点，調査書で特に重視する項目等は、県の発表する選抜概要に詳細が掲載されています。

## 一般選抜①

●一般選抜全体の募集人員は、募集定員から特別選抜等の合格者数を差し引いた人数になります。

### ●選抜資料

①面接	配点は各学科により異なる
②調査書	「学習の記録」「学習の記録以外」に配点が分かれている
③実技検査	希望する学校のみ実施、配点は各学科により異なる
④学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5教科（各25分・各50点） 数学及び英語の追加問題（各15点）を実施することも可能 ※2021年度、追加問題は実施無し

## 一般選抜②

### ●選抜方法

上記の資料を用い総合的に審査するのですが、その際、2つの異なる選考方法で審査を行います。選抜に用いる配点の中で「学力検査の評価の割合」をどの程度重視するかによって選抜を分けています。

- ・選抜Ⅰ…「学力検査の評価の割合」を全体の評価のうちの50～70%に設定
- ・選抜Ⅱ…「学力検査の評価の割合」を全体の評価のうちの70%程度に設定

先に選抜Ⅰを行い、その後選抜Ⅱを行います。選抜Ⅰの募集人員は募集定員の10～30%の範囲で学校毎に決定され、選抜Ⅱの募集人員は、募集定員から、特別推薦及び選抜Ⅰ合格者を差し引いた人数となります。

- ・上記選抜資料の各配点は選抜Ⅰ・Ⅱで異なる場合があります。  
また、学力検査においては、選抜Ⅰの際に傾斜配点を行う場合があります。

●特別推薦同様、実施項目や各学校の設定した配点、調査書で特に重視する項目等は、県の発表する選抜概要に詳細が掲載されています。

### <巖木・太良高等学校の全県募集枠について>

不登校経験者、発達障害のある者、高校中途退学者を対象に、巖木高等学校及び太良高等学校で募集をしています。選抜の日程や内容はほぼ一般選抜と同様ですが、選考Ⅰ・Ⅱの区別は行わず、学力審査は傾斜配点とし、面接を重視した評価をします。